

向井滋春クインテット

向井滋春(Dr) 向井滋春

> 1949年1月21日、名古屋生まれ。高校入学時に吹奏楽でトロンボーンを始める。同志社大学でビッグバンド、コンボで演奏。1970年にヤマハLMコンテストに入賞。'72年川崎僚バンド、大友義雄バンド、に参加しながら自己のバンドも結成。'74年新宿ジャズ賞受賞。'75年SJ誌人気投票トロンボーン部門で1位に選ばれて以来現在まで圧倒的に首位を独占している。'79年にニューヨークに渡り、帰国後「モーニングフライト」を結成。「オリッサ」と改変。この間「渡辺香津美キリンバンド」「松岡直也ウイシング」にも参加。アルシオーネ、ジョアンボスコ、等ブラジリアンとの共演。香港、マカオジャズ祭への出演。ベルリンジャズ祭、ドナウエッシンゲン祭、ステューブガット等との「Pleasure」、アストラッドジゼルベルトとの「So&So」をNYで録音。その後エルビンジョーンズとのツアーを機に再びストレートジャズにのめり込む。'86年に板橋文夫、古野光昭、古沢良治郎と「ホットセッション」を結成。'90年には「INGプロジェクト」で旧ソ連（モスクワ等）で演奏。'95年山下洋輔グループでブラジル、アルゼンチン、パラグアイ公演に参加。'98年プロ野球オールスター戦名古屋ドームで「君が代」をソロ演奏。'98年11月には旧友のビリーハートやニコラスペイトンらとNYで「STANCE」をレコーディング。現在は「自己のクインテット」「Super4Brass（2001年1月CD発売）」「弦楽四重奏とのバンド」山下洋輔、八尋トモヒロとの「八向山」で活動している。管や弦のアレンジでも頑張っている。又洗足学園大学ジャズ学科の客員教授も務めている。



江藤良人(Ds) 1973年4月14日、三重県鈴鹿市生まれ。

> 10歳の頃からドラムを始める。高校卒業後上京し、武蔵野音楽学院にて土岐英史(as)、井野信義(b)のアンサンブルレッスンを受ける。1994年SWING三田倶楽部”土岐英史SESSION”にてデビュー。1996年辛島文雄(p)グループで本格的にプロ活動を始め、以後、中本マリ(vo)、益田幹夫(p)、池田芳夫(b)、原朋直(tp)のレギュラーメンバーとなる。1997年日野皓正(tp)カルテットのメンバーとしてNHKテレビに出演。東京FM「渡辺貞夫ナイトリー・ユアーズ」に出演。これを機に渡辺貞夫(as)カルテット、ビッグ・バンドに参加。ラジオ、テレビにも多数出演。1998年”渡辺貞夫BAND'98”のメンバーとして、”スイス・モントルーJAZZ FESTIVAL”に出演。(7月)その後、ヨーロッパ・ツアー、国内ツアーにも参加。多田誠司(as)、今泉正明(p)らと共にジャズ・ファンクバンド”SLASH!”を結成。1999年大西順子(p)トリオに参加し、”'99ひたちなかJAZZ FESTIVAL”に出演。”SLASH!”デビューアルバム発売。綾戸智絵(vo)”Friends”コンサートツアーに参加。2000年> 森下滋(org)、後藤郁夫(g)とRock BAND”SUGAR MAN”結成。> スイング・ジャーナル誌5月号「日本人ジャズメン読者人気投票」DRUMS部門>で第3位に選ばれる。2001年自己のトリオ”ANIMAL HOUSE”を結成。(三木俊彦(as)、安東昇(b))>石井彰(p)トリオに参加。>また、初のSOLO LIVEを行う。他に、リー・コニッツ(as)、ローランド・ハナ(p)、エディー・ゴメス(b)、菊池雅章(p)等と共演。現在は自己のグループ及び国内のトップグループに在籍するかたわら、様々なセッションで活躍中。



今泉正明(P) 学生時代よりプロとして活動始める。86年渡米、ボストンのバークリー音楽大学に留学。勉強のかたわらライブハウス等で多数の演奏活動(Jazz,Funk, Latin-fusion)をする。88年1月には大学代表のバンドの一人としてNAJEジャズフェスティバルに出演し、アウトスタンディング賞を貰う。89年卒業、帰国後は演奏活動の拠点を東京に置



き、松本英彦、北村英二、宮の上貴 昭、福村博、日野皓正、日野元彦、渡辺貞夫らと共演し、現在は向井滋春バンド、松島啓之バンド、太田剣カルテット、宇川彩子バンド、クラブトコセクステット、リーダーズビッグバンド、自己のトリオ等で活動中、そのかたわら洗足学園大学ジャズコースの講師として教鞭を取っている。

川嶋哲郎(ts) 1966年8月9日生まれ、富山県出身。A型 8歳でピアノ、12歳でトランペット、高校の吹奏楽部でサクソに転向し、大学時代に独学でジャズを始める。卒業後富山の会社に就職し名古屋に勤務する。その後、大坂昌彦、原朋直に出会いプロミュージシャンに。

東京進出後は益田幹夫 4、大西順子 6、大坂・原 5、日野元彦 6、日野皓正 5 などの活動を経て自己のバンドで活動中。1998年スイングジャーナル誌人気投票でTS・SSの両部門で2位、1999年以降現在まで一位。

古野光昭(B) 三重県伊勢市出身。東京音楽大学卒業。宮田英夫カルテットにてプロ入り、渡辺貞夫グループ、ジョージ大塚グループ、今田勝トリオを経て、自己のグループ「古野光昭Expression」を結成する。都内のライブハウスを中心に活動。その後、本田俊之スーパーカルテット(日野元彦・本田タケヒロ)ホットセッション(向井滋春、板橋文夫、古澤良次郎)辛島文雄トリオに参加。現在は阿川泰子グループ、木住野佳子トリオにてレギュラー活動。そして自己を中心とするグループ他、数多くのセッションに参加している。2000年7月、自己のトリオ「フルノーツ」を結成。メンバーは川嶋哲郎、大坂昌彦。2001年6月20日に、古野光昭初のリーダーアルバム「FULL NOTES」

が発売された。

海外の演奏としてはスイス・モントル・ジャズフェスティバル、日韓友好ジャズフェスティバル(ジョージ川口と共に) 自己のグループでロシアに演奏旅行。そして、フィル・ウッズ、クリス・コナー、ペギー・リー、サリナ・ジョーンズ、リーコニッツ、ベニー・ゴルソン等と共演

その他、18年間、渋谷心身障害者センターで慰問コンサートを行う等、ボランティア活動にも意欲的である。現在も日本を代表するベーシストとして、4ビートはもちろんのこと、ポップス、クラシックまでも融合する、常に挑戦的かつ発展的な活動を続けている。的確なリズムとスピード感あふれるピッキングと共に、彼独自のスタイルで聴かせるアルコ(弓)ベースの美しさは、ジャズというジャンルを超えた世界観を持つものである。

